



3月号の「ひな人形」の表紙は、絵を描くのが趣味の
21才の素敵な女性に描いて頂きました。
お仕事のお忙しい中で、魅力的な「ひな人形」の姿に
スタッフ一同、感動致しました。
感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。



豊郷 Tachikawa Clinic

たちかわ皮ふ科クリニック*



『目標の自分』になる自分

2012 年が始まり早 2 ヶ月が経ちましたが、私は昨年 12 月に自分が将来を通じ向かいたい方向、いわば大目標を考えました。それが上記です。

この大目標に向かって成就させるための中目標が「信頼される仕事、信用される人間」であり、これに到達するために一日一日必要な事として「今日全」という言葉を得ることが出来ました。「今日全」とはある所から引用した言葉ですが、具体的には「今という時を懸命に生きる」というものです。

更にそこには、…人間が与えられるものの中で、モノもカネも情報も全て不平等だが「今」という時間だけは全人類平等に与えられた財産であるということ。そして「今」という時は取り戻すことが出来ないものだということ。この貴重な財産である「今」を大切に生きること。これを出来るようになることこそが、私の「なりたい自分になる自分」であります。

私は今までに 2 度、同じような言葉を耳にした記憶があります。1 つは研修医時代の尊敬する先輩医師（今この先生は他県の公立病院の院長になっておられる）に、「家柄も金持ちも貧乏も生まれついてじゃどうにもならん事もある。しかし“今という時”だけは誰にも平等にある。その使い方だけさ！それは不治の病の患者も同じ。今を大切に生きることだ！！」と先生がおっしゃった事を思い出します。もう一つは、一月号の「とよ・たち」に書いた被災地の父親が小学 6 年生の息子に言った一言。

「家が流されたり職を失ったり家族を亡くしたりした事は他人でも同情してくれる。しかしそれによって勉強が出来なくなりました。その時間が僕にはありませんでしたとは誰も認めてくれない。だから時間を無駄にせず勉強できない理由を震災のせいにはしてはいけない」と息子に言い聞かせていたことを思い出しました。父親が息子に言った言葉も、「今という時を懸命に生きる」「今日全」の必要性を訴えているのだと思うのです。

付＞

さて、久しぶりにお友達紹介をさせていただきます。

今回は、宇都宮市は塙田で歯科医院を開業されておられる名取歯科医院院長の名取健寿先生です。先生は一般歯科以外にもインプラントや審美治療においても多数の御経験が豊富であります。では、名取先生宜しくお願い致します。

とよたちをお読みになっている患者様

はじめまして。宇都宮市塙田で歯科医院を開業している名取歯科医院の名取健寿（なとり

けんじゅ)と申します。

今月から“とよたち”に皆様のお役に立つ情報をわかりやすくお伝えしていきますのでどうぞよろしくお願いいたします。

私も皆様と同じ刀川先生の患者の一人でいつも以下の事をいろいろ教えていただいております。

私達歯科の医療も医科の医療と同様に様々な治療技術、治療器械が新しくなり患者様の幸福の為に日々頑張っております。

さて、最近の話題は、何とんでも“インプラント治療”ではないでしょうか。

先日の「NHK クローズアップ現代」で“インプラントの光と影”と題した番組をご覧になった方も多いと思います。

私もインプラント治療を始めてからかれこれ 15 年がたとうとしておりますが、今までインプラント治療をしてきて思った事が幾つかございます。

まず、1 つ目に、現在では歯を失ってしまった後に入れ歯以外で固定性の歯を入れるとなるとインプラントしか方法はないということです。

今回の NHK のテレビでインプラント治療の何がこんなに問題になってしまったのかというと、正確な診断が無くただ歯の無いところにやみくもにインプラントをしたためにこのような悲惨な事になってしまったということに他なりません。

これからインプラントを考えている患者様は次の事を覚えて頂けたら今後の参考になると思います。

- 1.インプラントをする前にご自分の歯の状態が全体的にどうなのか、主治医の先生にお聞きになって下さい。
- 2.CT レントゲン写真は必ず必要です。
- 3.ご自身の CT レントゲンがどのような状態なのか、説明を受けて下さい。
- 4.主治医にインプラントの治療経験の説明と実際の画像を見せてもらって下さい。

私達歯科医師は、インプラント治療をする事はその患者様の人生と共に歩むという覚悟が必要であると私は考えております。

インプラント治療をする前に本当にその歯を抜く必要があるのか？

という事も真剣に考えなくてはなりません。

今回、ここまでお読みいただきありがとうございました。

皆様のこのコラムをお読みになった感想やご意見などございましたらお知らせ下さい。

予告：

次回からは、インプラント治療にならない為にはどうしたらいいのかを細かく、また、わかりやすく説明していきたいと思っております。

今後ともよろしくお願い致します。

院長：刀川